

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年5月30日(火)	確認目的	使用前検査の状況
確認箇所	増設・高性能ALPSサンプルタンク北側(多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送設備)		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>漏えい検知器および警報装置について、東京電力が原子力規制庁による使用前検査を受けていることから、状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALPS処理水移送配管には計10台のベント弁があり、それぞれに漏えい検知器が設置される計画である。そのうち最も上流側に設置されているベント弁の使用前検査の状況を確認した。(写真1) 検査は、漏えい検知器の外観検査、据付検査、漏えい警報検査の順で行われた。漏えい検知器の外観検査では、漏えい検知帯(水を検知する部分)に破損がないことを目視により確認していた。据付検査では、漏えい検知帯、ゲルパッキン等の据付状況を目視により確認していた。漏えい警報検査では、検査用に準備した水を使って漏えい検知器の作動確認を行っていた。(写真2) 漏えい警報検査では、漏えい検知器が設置されている場所と警報装置が設置されている場所(免震重要棟)との間で連絡を取り合いながら、漏えいを検出し、警報が作動することを確認していた。 		
			
	(写真1) ALPS処理水移送配管ベント弁	(写真2-1) 外観検査の状況	
			
	(写真2-2) 据付検査の状況	(写真2-3) 漏えい検査の状況 漏えい検知帯を水に接触させている様子	